

新人を育てる自信がない、教え方が分からない・・・と悩む全ての人に！

やった！職場に待望の新人が来る！ でも、ちょっと不安かも・・・。

どのように
教えたらよいか
分からない



イマドキの新人
を育てる
自信がない



ベテランの持つ
技能を新人に
伝えられるかな



仕事が忙しくて
人に教える
時間がない



その不安、一緒に解消しませんか？

専門知識を持つインストラクターが、TWI-JI「仕事の教え方」を使って、その不安を解消します！

- TWI-JI「仕事の教え方」とは企業内訓練の一つで、日本で長年多くの企業や職場で取り入れられているプログラムです。

Training Within Industry = 企業内訓練

Job Instruction = 仕事の教え方

内容は？

- ・ 第一線で活躍する 監督者やリーダーに最適なプログラム
- ・ 言って見せるだけ、やって見せるだけではない 正しい仕事の教え方
- ・ 「知る」より「できる」を重視する 実演と討議の繰り返し
- ・ 作業分解や訓練予定表などの 仕事の用意の仕方も丁寧に説明

効果は？

- ・ 「教えているつもり」ではなく、仕事を正しく教えられるようになります
- ・ 仕事の準備段階で、いつまでに誰が何をすべきか分かるようになります
- ・ 職場で発生するムダ、失敗、手直し等の 多くの問題が解決します
- ・ 低コストで高品質の商品やサービスを提供できるようになります

— 詳細は裏面をご覧ください —



「仕事の教え方」実演



「訓練予定表の作り方」

実演と討議を繰り返し
「正しい仕事の教え方」を習得！



「仕事の教え方」実演と受講者同士の討議

インストラクター

加藤 武志 (かとうたけし)

会社のビジョンや夢の達成を支援する

ミライづくりのパートナー



TWI-JIインストラクター（一般社団法人日本産業訓練協会認定 No.8241）として、大手・中堅企業での指導経験多数。富山県朝日町出身、ミライスタコンサルティング代表、中小企業診断士。

【お問い合わせ先】



【良くあるご質問から】

— TWI-JI って何ですか？

TWI-JI は、従業員を訓練し、立派な仕事ができるようになるための技能を学ぶ研修です。従業員を訓練する立場にある監督者やリーダーに最適な内容です。

— 何が習得できますか？

正しい仕事の教え方を習得します。受講者とインストラクターの間で実演と討議を繰り返し、翌日からすぐに使える「教え方の4段階法」と「用意の仕方」を習得します。

— 教え方の4段階 —

第1段階 — 習う準備をさせる

気楽にさせる
何の作業をやるかを話す
その作業について知っている程度を確かめる
作業を覚えたい気持ちにさせる
正しい位置につかせる

第2段階 — 作業を説明する

主なステップを一つずつ言って聞かせ、
やってみせ、かいて見せる
急所を強調する
はっきりと、ぬかりなく、根気よく
理解する能力以上にしない

第3段階 — やらせてみる

やらせてみて一間違いを直す
やらせながら、作業を説明させる
もう一度やらせながら、急所を言わせる
わかったとわかるまで確かめる

第4段階 — 教えたあとをみる

仕事につかせる
わからぬときに聞く人を決めておく
たびたび調べる
質問するようにしむける
だんだん指導を減らしていく

— 仕事の教え方 —

用意の仕方

教える前に
訓練予定表を作る
だれを
どの作業に
いつまでに

作業を分解する
主なステップを列記する
急所を取り出す
(安全は常に急所)

すべてのものを用意する
正しい設備、道具、材料その他必要なもの

作業場を整備する
作業員が常に守ることになっているようにきちんと

**TWI-JI を採用している
多くの企業や職場で
高い成果が得られています！**



— どのような成果が得られますか？

仕事を正しくやれるよう従業員に訓練することで、職場で発生する多くの問題が解決し、低コストで高品質の商品やサービスを提供できるため、企業の業績がアップします。

— 研修時間はどれくらいですか？また、1回の受講人数はどの程度ですか？

標準時間は10時間です。受講人数は4～6人/回が最適ですが、ご相談に応じますので、お問い合わせください。

— これまでの受講者の声はありますか？

(受講者アンケートより)

実演もあり、わかりやすかったです。今まで、教えているつもりになっていましたが、研修で学んだことを職場で活用していきたいです。
(機械メーカー、班長・30代)

相手になぜ伝わらないのか、分かってもらえないのが理解できました。これまでこういったことを学んだことがなかったので参考になりました。
(機械メーカー、係長・40代)